



教えて!

# 市立病院

vol.59

市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

テーマ

心臓弁膜症ってどんな病気？



今月のドクター  
診療部長兼  
心臓血管外科長  
佐藤洋一 医師

今回は心臓弁膜症の原因、症状、治療に関して話をします。

まず原因についてです。最近では加齢によって弁が脆弱になり、付着している腱索というヒモが切れ、弁がめくれて血液が逆流することが僧帽弁という弁に多く見られます。また、加齢や動脈硬化で弁が厚く硬くなり、うまく開かないことが大動脈弁という弁に多く見られます。また、多くはないですが、血液の中に入った細菌が、大動脈の心臓弁に棲みついて弁を破壊して孔を空けたり腱索を切ったりして逆流を生じることもあります。これを感染性心内膜炎といいます。当院に私が赴任してからの7年3ヵ月間で弁膜症手術101例の内、感染性心内膜炎は6例で血液の中に細菌が入り込んだ原因は

虫歯が4例、膀胱炎などの尿路感染が2例でした。弁膜症は聴診器でよく聴くと必ず心臓の雑音が入ります。

続いて症状です。弁膜症になり心臓に負担が生じると、動悸や息切れを自覚したり、脈が乱れることが多くなったり、顔や下腿が浮腫んだりします。

最後は治療についてです。軽いうちはもちろん薬で調節できますが、心臓が大きくなって動きが悪くなった時や、心不全を起こした時は早めに手術を行うべきです。手術は、弁を修復する形成術と人工の弁に交換する置換術があります。

詳しくは3月31日(土)に開催する市民公開セミナーでお話ししますので、ぜひお越しください。